

令和4年度宮崎中小企業大賞表彰企業の決定について

令和4年10月17日
商工政策課

1 表彰企業

(※五十音順)

表彰企業	主な事業内容	所在地
株式会社杉本商店	食料品製造業（原木乾燥椎茸）	高千穂町
マトヤ技研工業株式会社	食肉機械・自動省力化機械製造業	都城市
ミクロエース株式会社	金属表面処理業	宮崎市
大和フロンティア株式会社	畜産のこくず製造販売業、 飼料・肥料製造販売業	都城市

2 表彰式（知事会議室）

令和4年10月25日（火）11:00～11:20

【参考：宮崎中小企業大賞について】

- ・「県内産業の振興」や「地域経済の活性化」に特に寄与している中小企業を表彰することで、中小企業に対する県民の理解を深めるとともに、本県経済全体の活性化を図る。
- ・表彰企業については、「宮崎中小企業大賞表彰選考委員会」の選考を踏まえ決定。
- ・平成19年度から始まり、令和3年度までに51社が受賞。

所管：商工政策課
担当：後藤、石川
直通：26-7094
内線：2516

令和4年度 宮崎中小企業大賞 表彰企業の概要 (1/2)

株式会社 杉本商店			代表	代表取締役社長 杉本 和英
日本人の食生活の変化により、「原木乾燥椎茸」の消費量が減少傾向にある中、3年前から海外への輸出に取り組んでいる。HACCPや有機JAS等の各種認証を取得し、輸出量を20倍までに伸ばしている。			創業	昭和34年
住所	西臼杵郡高千穂町大字三田井 458-28	従業員	22名	
業種	食料品製造業(原木乾燥椎茸)	表彰項目	オンリーワンの視点 地方創生・働き方改革の視点	
表彰理由	<ul style="list-style-type: none"> ・原木乾燥椎茸の国内需要の減少をいち早く捉え、3年前から海外輸出(欧米)に取り組んでおり、HACCPや有機JAS、ISO22000などの各種認証を取得し、現在では北米を中心に19か国に輸出し、輸出量も20倍までに伸ばしている。 ・創業当時より一貫して、原料納入農家から全て現金で買い入れており、現在では高千穂町を中心として約650軒の取引農家を支えており、地域の雇用や経済に大きく貢献している。 ・生産現場の高齢化を受けて、産学連携でアシストスーツの実証実験にも取り組むなど、持続可能な生産体制の構築を目指している。 ・障害者福祉施設との連携にも積極的に取り組んでおり、生産支援、作業発注、商品開発なども行い、林福連携事業の優良事例となっている。 			



マトヤ技研工業 株式会社			代表	代表取締役社長 豊増 敏夫
食肉処理機器の製造において、創業以来培ってきた経験と技術を持っており、これまでに特許・実用新案を28件取得(出願中も7件)している。日本のみならず、韓国、タイ、アメリカなど10か国以上にオンリーワンの機械を輸出している。			創業	昭和60年
住所	都城市梅北町11267 (宮崎工場)	従業員	52名	
業種	食肉機械・自動省力化機械製造業	表彰項目	オンリーワンの視点	
表彰理由	<ul style="list-style-type: none"> ・食肉処理のオンリーワンの製品が多数あり、国内のみならず、海外にも10か国以上の国に輸出し、販路を拡大している。 ・県内全ての牛豚の食肉センターに機械装置が配置されており、本県の主要産業である畜産業を強力にサポートしている点が高く評価できる。 ・これらの取組が評価され、民間部門農林水産研究開発功績者賞や、ものづくり日本大賞、新機械振興賞などを受賞している。 			



令和4年度 宮崎中小企業大賞 表彰企業の概要 (2/2)

マイクロエース 株式会社			代 表	代表取締役 柳 義一
「研究開発」、「品質管理」、「環境との調和」の理念に則り、様々な金属部品の表面処理を行っており、一部の自動車・バイク部品においては世界シェア100%を誇っている。			創 業	昭和27年
住 所	宮崎市花ヶ島町京出1411-1	従業員	93名	
業 種	金属表面処理業	表 彰 項 目	オンリーワンの視点 新技術・新分野進出の視点 地方創生・働き方改革の視点	
表 彰 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の高い技術力に満足することなく、常に新技術等の研究に積極的に取り組み、成果を上げている点は他の企業の模範となる。 ・高い技術力が認められ、国内トップメーカーの製品に採用されている点は高く評価できる。今後の海外への展開も期待したい。 ・県外取引中心の外貨獲得型企业であり、外国人技能実習生の活用など大きな雇用を生み出し地域経済を支えている。 			



大和フロンティア 株式会社			代 表	代表取締役 田中 浩一郎
将来的に化石燃料の消費が減少することを見越し、木材原料を活用した新事業を立ち上げる中で、宮崎県畜産試験場、宮崎大学との連携により、「笹サイレージ」の事業化に成功した。			創 業	平成17年
住 所	都城市上長飯町2416-5	従業員	20名	
業 種	畜産のこくず製造販売業、飼料・肥料製造業、地下貯蔵タンク等のメンテナンス業	表 彰 項 目	新技術・新分野進出の視点 地方創生・働き方改革の視点	
表 彰 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的な問題となっている放置竹林の問題に注目し、それらを実費で伐採し、有効活用することで、全国的に注目されているビジネスモデルである。 ・放置竹林問題の解決だけでなく、ロシアのウクライナ侵攻に伴う飼料価格の高騰の一助となることに加え、農畜産品の収穫量・品質・土壌の向上に繋がる素晴らしい取組である。 ・鹿児島と新富町に工場も新設し、生産体制を整えたことで、今後の生産・販売量の拡大に大いに期待できる。 			

